

# 平成24年度当初予算 健全で規律ある財政運営の確保に努め、「成長」 「セーフティネット」に重点配分

平成24年度当初予算では、東日本大震災の影響や海外経済の減速などにより税収が厳しさを増す中で、収入の範囲内で予算を組む原則を徹底し、健全で規律ある財政運営の確保に努めました。その中にもあっても、大阪の将来を担う子どもたちの教育への重点投資を継続するとともに、特に「成長」と「セーフティネット」に関する予算に気を配りました。

「成長」については、総合特区の指定を追い風とした新エネルギー・バイオ産業の振興や、都市魅力の創造といった施策、また、「セーフティネット」については、災害に強いまちづくりや障がい者支援、子どもを守る施策などに力を注ぎました。

今後とも、「大阪再生」へ向けて、全力で取り組みます。



## 大阪の成長を牽引する産業の振興

### ■新エネルギー産業の振興

・**バッテリー戦略研究センター機能の整備** 4,687万円

大阪・関西に集積するバッテリー産業の国際競争力向上のため、新たな需要の創出や企業・研究機関のネットワークづくりをすすめるバッテリー戦略研究センター機能を整備します。

### ■バイオ産業の振興

・**PMDA-WEST機能の大阪誘致** 406万円

医薬品等の承認審査を行う独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の西日本事務所誘致に向けた取り組みを行います。

## 大阪でがんばる中小企業を支援

### ■中小企業の資金調達をサポート

・**経営安定を図るためのセーフティネット融資** 融資枠 5,000億円

・**中小企業の元気アップを後押しするための融資** 融資枠 1,900億円

■**MOBIOにおけるものづくり中小企業支援** 1億5,703万円

ものづくりの総合支援拠点であるMOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)において、技術、販路、経営等の相談、支援などのワンストップサービスを展開します。

## 新たなエネルギー社会を構築

### ■再生可能エネルギーの普及拡大

・**住宅用太陽光パネル設置への融資** 融資枠 15億円

金融機関と連携し、住宅用太陽光パネル設置への融資制度を創設します。

[融資利率：年 1.0%(固定)、融資限度額：150万円、融資期間：10年]

・**都市インフラを活用した新エネルギー政策の推進** 5,000万円

下水処理場のまとまった空間や府営公園などを活用し、民間企業の資金とノウハウを生かして太陽光発電システムなど新エネルギー事業を運営するとともに、子どもたちの学習拠点として活用します。

### ■電力需要の平準化と電力供給の安定化

・**休止中のコージェネレーションシステム稼働支援** 2億5,000万円

電力供給の強化を図るため、稼働を休止している事業用コージェネレーションシステム(※)を再稼働するに際し、燃料費を補助します。

※ガス燃料を使い、熱と電力を同時に供給するシステム

## 他都市を圧倒する都市魅力の創造

### ■大阪ミュージアム構想

・**大阪ミュージアム構想の推進** 4,501万円

まち全体をミュージアムに見立て大阪のまちの魅力アップを図り国内外に発信します。

・**大阪マラソン** 1億円

・**御堂筋イルミネーション** 3億1,550万円

### ■水都大阪・水辺のにぎわい創出

・**水と光のまちづくり** 1,850万円

水都大阪のさらなるブランド化をめざし、中之島西部エリアでの新たなシンボル空間の創出と水辺の回遊性向上に向けた検討をすすめます。

■**りんくうタウンを内外からの新たな交流・集客拠点に**

・**国際医療交流の拠点づくり** 10億円

関空に近接するまちの“強み”を生かして国際医療交流をすすめるとともに、府民に多様な選択肢を提供できる医療・健康づくりの拠点をめざします。

## 公立・私立あわせて大阪の教育の質を向上

### ■公・私共通の土俵で切磋琢磨

・**がんばった学校支援** 3億円

全国的な大会などで顕著な成果を挙げた学校や中退防止等の教育課題の解決に取り組んだ学校を支援し、さらに高い教育効果を生み出すことをめざします。

・**実践的キャリア教育・職業教育支援** 1億3,800万円

専門学校や企業と連携し、生徒のニーズに応じた実践的なキャリア教育・職業教育プログラムを実施する学校を支援します。

・**実践的英語教育強化事業** 1億2,867万円

実践的な英語教育を行う学校を支援し、世界で活躍できるリーダーを育成します。

### ■公立学校での取り組みの充実

・**小・中学校の学力向上の取り組み支援** 10億5,318万円

府教育委員会と市町村教育委員会が連携し、学力・学習状況調査で明らかとなった課題の解決に積極的に取り組む小・中学校を支援します。また、学力向上に向けた計画・体制を整備する中学校に教員等を配置します。

・**中学校給食導入促進** 11億800万円

学力や体力をはじめ中学生の成長の源となる「食」を充実させ、大阪の教育力の向上につなげるため、中学校給食を導入する市町村を支援します。

※大阪市・堺市を除く

・**長期入院生徒学習支援** 1,491万円

入院のために長期間登校できない学習意欲がある府立高校の生徒に対し、教員が病院等に訪問し学習を支援します。

■**私立高校生等への授業料支援** 174億5,805万円

中学校卒業時の進路選択段階で、公立高校、私立高校、高等専修学校を問わず、自由に学校選択できる機会を提供するため、授業料の支援補助を行います。

○全日制の平成24年度新1・2年生の場合

保護者の年収(めやす)	国と府による支援額の合計	保護者負担
610万円未満	580,000円	0円
800万円未満	480,000円	100,000円

※府内の平均的な私立高校の授業料(新1・2年生58万円)をもとに算定(学校によって保護者の負担額が異なります)

# 安全・安心のセーフティネットを構築

## 障がいのある子どもたちの教育環境の充実

- 障がいのある生徒の高校生活支援 1億2,455万円  
学校生活や学習の支援を行うため、スクールカウンセラーや学習支援員など専門的知識を持つ人材等を配置します。
- 府立支援学校における職業コースの設置 545万円  
府立支援学校の高等部に「職業コース」を新設し、就労を見据えた指導を行います。

## 減災のまちづくり ～真に災害に強いまちづくりのために～

- 地震・津波対策  
近い将来発生が予測される東海・東南海・南海地震に備え、人命を守ることを最優先に、災害による被害を減らすための減災事業を実施します。
- ・津波の発生を知らせる道路情報提供装置や防潮堤避難用階段などの設置 1億3,340万円
- ・水門の遠隔操作化、鉄扉の電動化などの地震・津波対策 2億6,870万円
- ・住宅耐震化緊急促進事業 2億355万円  
昭和56年以前の木造住宅の耐震診断・設計・改修費用の一部を補助します。
- 治水・森林対策
- ・新たな治水対策の推進 2億4,530万円  
府が管理するすべての河川において氾濫解析を行い、洪水のリスクを公表します。
- ・森林防災機能の回復・強化 1,210万円  
災害に強い森づくりを進めるため、地域住民と協力し、植栽などの森林整備や土砂の流出を防ぐ木柵の設置を行います。また、地域住民が主体となる防災パトロールを支援します。
- 広域的な被災地支援
- ・災害廃棄物広域処理 49億1,130万円  
府民の健康への影響が出ないことを前提に、岩手県の災害廃棄物を2年間で最大18万トン処理することにより、被災地を支援します。

## 障がい者の就労・地域生活をしっかり支援

- 障がい者雇用日本一に向けた取り組み
- ・障がい者の就労支援強化 5,374万円  
福祉施設から企業などへの就労を促進するため、障がい者就業・生活支援センター等と連携し、実習や雇用先企業の開拓、働き続けるための支援を充実します。
- ・障がい者雇用No.1に向けた企業の取り組み支援 3,042万円  
契約締結や補助金交付の相手方など、府と関係のある法定雇用率未達成事業主に対して、雇用率達成に向けた取り組みを誘導、支援します。

## ■障がい者(児)の地域での生活を支援

- ・障がい者の地域生活支援体制の整備 1億805万円  
障がい児(者)施設に入所する18歳以上の障がい者が、安心して地域で暮らせるよう、コーディネーターを配置するなど地域生活支援体制を整備します。
- ・高次脳機能障がい者の社会復帰支援 2,679万円  
グループホーム等の整備などにより広域的・専門的な支援体制を整備します。
- ・重症心身障がい児(者)の地域ケアシステムの整備 2,576万円  
医療的ケアが必要な重症心身障がい児(者)の地域生活を支援するために、介護技術の向上を目的とした研修を実施するとともに、地域ケアシステムを整備します。

## 子どもを守る／地域の防犯力を高める

- 児童虐待の防止対策の強化 1億810万円  
子どもたちの生命・安全を守るため、児童虐待早期発見力の強化や施設退所後における児童虐待再発防止など、虐待防止策を強化する事業を実施します。
- 子どもを性犯罪から守る 1,000万円  
「大阪府子どもを性犯罪から守る条例」に基づき、子どもの性犯罪被害を未然に防ぐため、子どもや保護者等への教育・啓発や、性犯罪の刑期満了者に対する相談などの社会復帰支援を行います。
- 地域防犯力の向上 700万円  
防犯ボランティアの活動拠点となる地域安全センターの設置や、青色回転灯をつけた車で地域を巡回する青色防犯パトロール活動を新たに行う団体を支援します。
- 警察官の増員 2,755万円  
警察官を増員し、サイバー犯罪の取り締まりなどの取り組みを強化します。

## 医療先進都市大阪をめざして

- 周産期医療体制の整備 10億3,670万円  
安心して子どもを産み育てることができるよう、高度専門的な周産期医療を行う周産期母子医療センターに対して助成を行うなど、周産期医療体制の充実を図ります。
- 府立成人病センターの整備 1億5,403万円  
府立成人病センターの大手前地区への移転建替を進めるため、立体駐車場の整備やPFI(※)事業者の選定などを行います。  
※公共施設等の建設や運営等を民間の資金や能力を活用して行う方法

## 府営住宅ストックを活用したまちづくり

- 府営住宅再編整備推進プロジェクト 1,500万円  
府営住宅を活用し、まちの活性化を図るため、市町への移管を含めた府営住宅の再編整備を検討します。

## 健全で規律ある財政運営の確保

### ■大阪府財政運営基本条例(平成24年2月10日施行)

財政運営の基本ルールを定めたもので、健全で規律ある財政運営を行うことにより、府民福祉の維持向上を図ることを目的としています。

- 規律の確保  
収入の範囲内で予算を組む財政のリスクマネジメント
- 計画性の確保  
中長期の財政状況の試算・公表、減債基金・財政調整基金への計画的な積み立て
- 透明性の確保  
予算編成過程など財政情報の積極的な公表、新公会計に基づく財務諸表の公表